



PCの音をPyramixで録音する

必要なもの

1. PC の音を Pyramix で録音するには **MAD (Merging Audio Device)** が必要です。

[最新版をダウンロード](#)して PC にインストールしてください。

*注意: 設定は **MassCore** システム と **Native** システム により異なりますので、運用しているシステムにより変更してください。

- [MassCore システム](#)
- [Native システム](#)

2. インストール後、PCは再起動する必要があります。
3. コントロールパネル > サウンド の ”再生” タブを開き、**MAD** のエントリーを右クリックして「既定のデバイス」に設定してください。



MassCore システム



Native システム

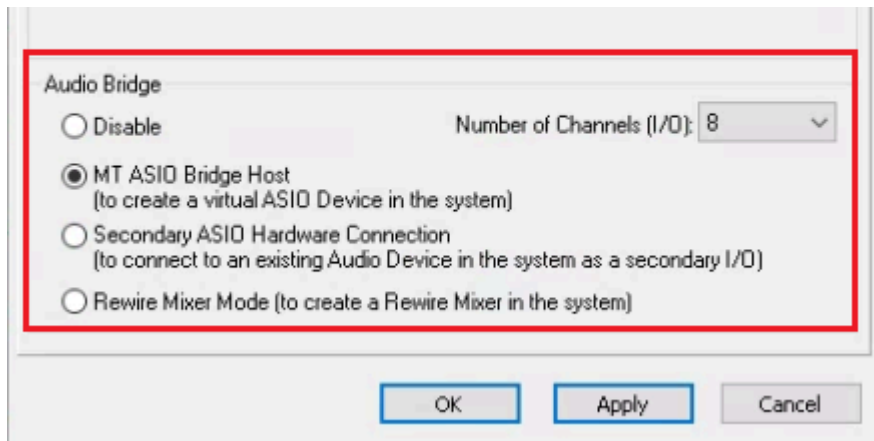
注意: MADの詳細については、[こちらのマニュアル](#) をご覧ください。





MassCore システム

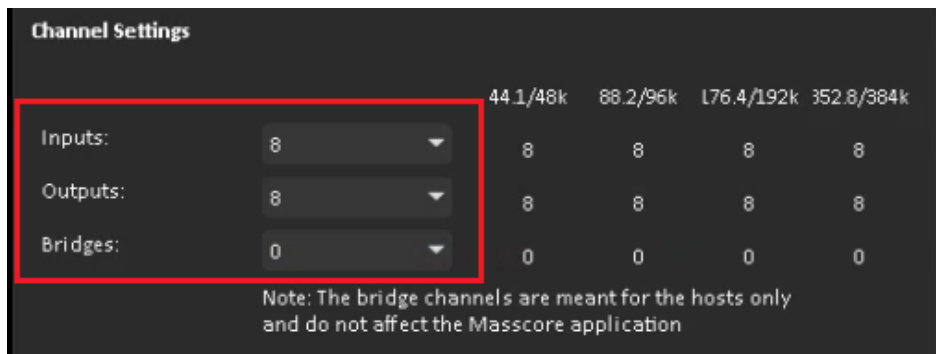
1. コントロールパネル > **VS3 Control Panel** を開いてください。
2. **Audio Bridge** の設定を下図の様に合わせてください。”**Number of Channels (I/O)**” は 録音する PC の音のチャンネル数分設定してください(最低は 8ch)。



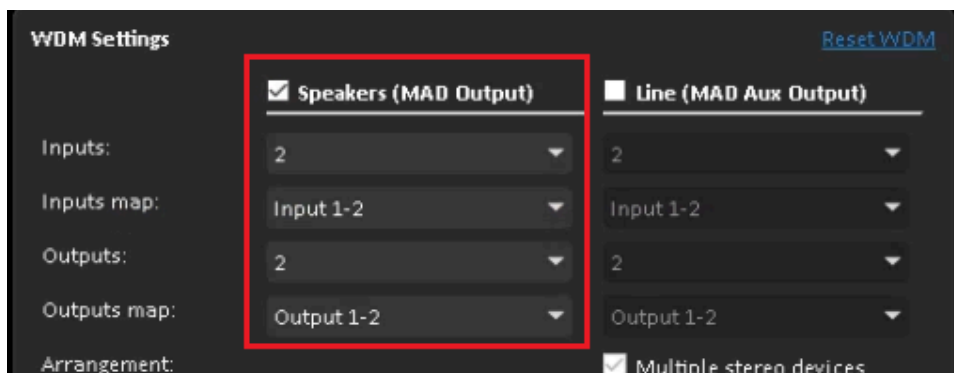
3. MAD パネルを開き、”**Advanced Settings**” をクリックすると、”**Channel Settings**” には 既に ”Inputs” と ”Outputs” が ”8” に設定されているはずですが。
これが Pyramix の ”**MT ASIO Bridge**” として Pyramix の 入力に使用することができます。

ここで ”Bridges” のチャンネルは必要ありません。

ASIO の ”Inputs” と ”Outputs” が ”MT ASIO Bridge” となりますので、気を付けてください



4. 次に **WDM Settings** のセクションで ”**Speakers(MAD Output)**” にチェックを入れ、”**Output 1-2**” と設定してください(ここで Bridge のどのチャンネルにPCの音を送るかが決まります)。ここでも ”Bridge Channel 1-2” などに設定しないでください。





5. Pyramix を起動させて Project を開いてください。
6. Mixer を表示させ、録音したいトラックに割り当てた Mixer の入力に “MT ASIO BRIDGE” 内の “AB1” と “AB2” を割り当ててください。



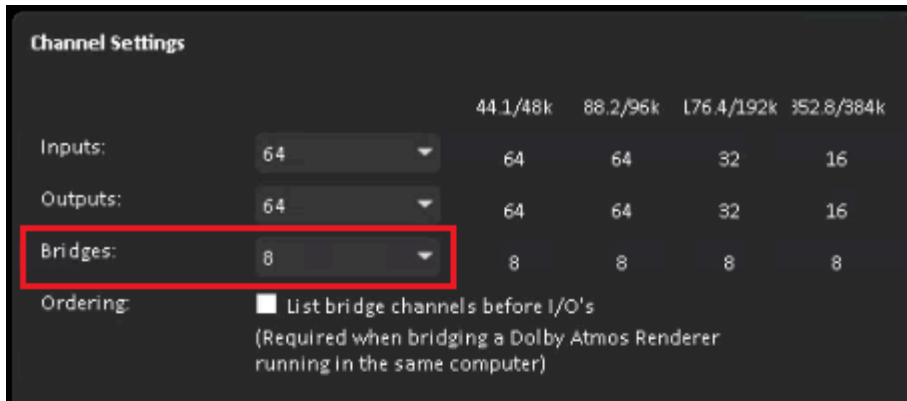


Native システム

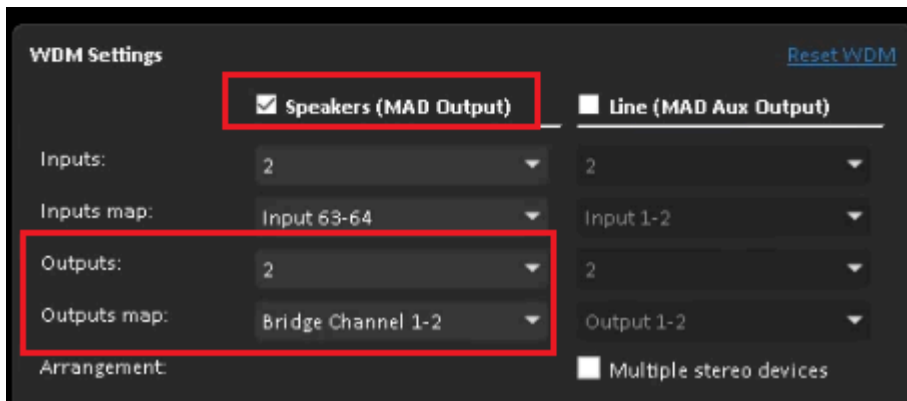
Native システムでは 2通りのやり方がありますが、ここでは前章同様 Bridge 経由で音を Pyramix に送る方法を解説します。

1. MAD パネルを開き、“Advanced Settings” をクリックすると、“Channel Settings” には既に “Inputs” と “Outputs” が ある程度大きな値に設定されているはずです。これは Native システムで同時に録音したい最大のチャンネル数が設定されています。

“Bridges” を Pyramix に送りたいチャンネル数に設定してください。Bridge として設定する部分に注意してください。



2. 次に WDM Settings のセクションで “Speakers(MAD Output)” にチェックを入れ、“Bridge Channel 1-2” と設定してください(ここで ASIO Bridge のどのチャンネルにPCの音を送るかが決まります)。



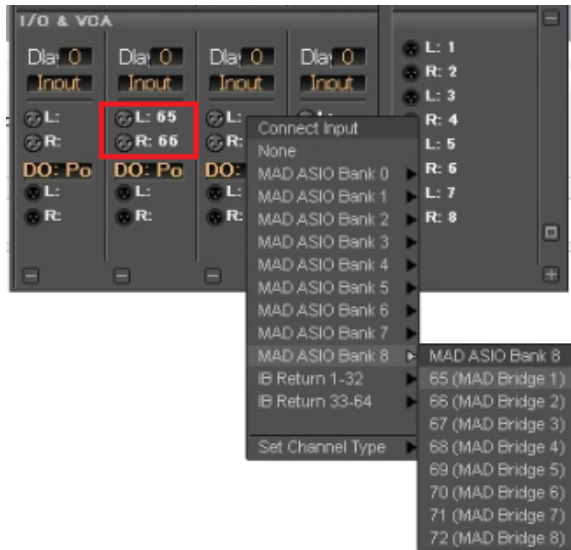
3. Pyramix を起動させ、Project を開いてください。
4. Mixer 入力に “MAD ADIO Bank n” の中から “MAD Bridge 1” と “MAD Bridge 2” をアサインしてください。

これらは1で設定している “Inputs” の数字に続くチャンネルとなっており、設定している最後のチャンネルの 次のバンクに入っています(この例では “Input” を 64 に設定しているため、Bridge は “MAD ASIO Bank 8” の “65” 以降に表示されます)。

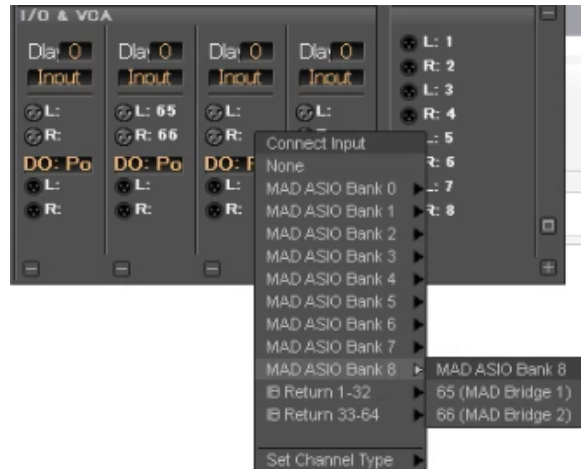
また、“Bridges” で 設定した数により、8 に設定した場合と 2 に設定した場合は “MAD ASIO Bank” 内の表示が異なります。



Bridge を 8 に設定した場合



Bridge を 2 に設定した場合



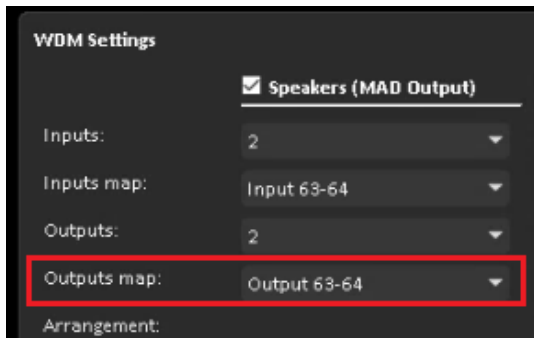
※ 注意:

Native システムでは、2の設定で Pyramix の通常の入力にPCの音をアサインすることができますが、その分設定した物理入力が減ることになります。

※ 注意:

上記2で “Bridge Channel *n*” ではなく “Output *n*” と設定した場合（下図の例では、Output 63/64 に設定）、PC の音が MAD のチャンネル 63/64 にアサインされることになります。

従って それらのチャンネルには Hapi や Anubis からの信号を送る事はできません。





トラブルシューティング

PC の音を Pyramix に送る事ができない場合、前章までの設定のどこかがうまく設定されていません。

Youtubeなどを再生しながら コントロール パネル > サウンド の ”再生” タブを開き、”スピーカー (Merging Audio Device)” の右側にあるメーターが振れていることを確認してください。



- ❖ メーターが振れていれば、PCの音は MAD まで到達しています。
 - MAD パネルで 出力を正しく設定してください
 - Pyramix の入力を正しく選択してください。
- ❖ メーターが振れていなければ、PCの音は MAD まで到達していません。
 - Windows の サウンド の設定を見直してください。
 - コントロールパネル の VS3 Settings の設定を見直してください。